

堂々立派新聞

発行所
堂々立派新聞京都本社
京都市中京区六角通烏丸東入ル
大塚六角ビル2階クラブフェイム内
郵便番号604
編集発行人/西崎修平
デザイン/橋本タラ

◆今月のお言葉◆

あたるも吐き気
あたらぬも吐き気

意味
なに喰ったって吐くときは吐く。
山科区 みゆ吉

人気ニューミュージックグループ

ZARDが無理難題

センバツ入場曲に球児困惑 「高野連にも問題あり」

テレビドラマの主題歌やCMソングなどで昔者に人気のニューミュージックグループ「ZARD（ザード）」が、第66回選抜高校野球大会に出場した選手全員に対し「負けないで」と、無理難題ともいえるメッセージを送っていたことがわかった。人気グループのこうした発言に厳しい地方大会を勝ち抜いてきた球児たちも困惑感み。



困惑のあまり地べたに突っ伏して頭を抱える選手

早春の甲子園球場に無茶な要求が流れた。三月二六日、午前九時から行われた第66回選抜高校野球大会開会式で、入場行進曲ZARD

Dの「負けないで」を演奏する兵庫県警察音楽隊に続き、平静さを装いながらも困ったような顔で五十二名の選手たちが行進した。

「負けないで」と言われても……と、ある出場校の関係者Aさん(36)は戸惑いを隠しきれない様子で語った。「出場三二校中三二校が負けるのがセンバツ。そこで「負けないで」というのはトーナメント制度を根本から覆す発言だ」「ひとつやふたつ負けても出られるのがセンバツなのに、ここまでできていきなり「負けないで」だなんて、監督が叱咤激励のために言うならともかく、見ず知らずの女の子にそんなこと言われたら……。子供たちがかわいそうだ」と泣き出す選手の父兄もいた。

高名な野球評論家S氏はこの件について「センバツの入場行進曲といえばその年、その大会のテーマソングのようなもの。こういう内容の曲を選んだ高野連も高野連だ」と語った。

京では寿司のチエーン店

甲子園球場ではZARDが取り沙汰されているが、京都では有名寿司チエーンのCMが、当たり前のように語っていると問題化の兆しを見せている。

問題のCMは「きれいなだけでは叱られます」というもので「当たり前じゃないか、うまくなきゃ」というのがその言い分。
「だんだん各方面にインネンつけるだけの新聞になりつつあるなあ。まずいなあ。」

フニヤずし

シャリはやっぱり、インディカ米。

なれあ

内閣



一文字隼人さん



本郷猛さん

「やはり内閣は改造されなければならぬ」と正義と真実、理想追求に燃える二青年が立ち上がった。
ふたりは東京都練馬区に本部のある立花レーシングクラブ所属のレーサー、本郷猛さんと一文字隼人さん。
本郷さんと一文字さんは

タメ息大賞に「知ってるつもり!?!」

政治を打破せよ

改造に東京の二青年

政治改革法案、税制改革法案、予算審議、そして今回の内閣改造問題と揺れ続ける連立政府を苦々しく見ており「内閣改造見送りは支持率と政権にこだわる細川首相と連立与党間のなれあい。今後仮に首相が内閣改造を断行したとしても、結果的にまた与党間の員数調整が行われるにすぎず、自民党の派閥調整となんら変わりはない。改造は根本からしなければ意味がない」と立ち上がったもの。

ふたりの計画によると改造後の内閣は、3km先のノミのジャンプを捉える視力、半径3km以内の床に針が落ちる音も聞きもささない聴力、分厚い電話帳を引き裂く腕力、高層ビルをも

へそまがりを自認する一般テレビ視聴者で構成した「TVをナナムに見る会」(神宮寺司会長・京都市)は八日、毎年年間を通じて出演者や視聴者から単位時間当たりに発せられるタメ息の数が最も多かった番組に贈られる「タメ息大賞」の93年度受賞番組を日本テレビ「知ってるつもり?!」に決定したと発表された。

同番組は古今東西の有名な人の人生を取り上げ、その人物がいかに不幸だったか、どれだけ苦労したかをVTRで紹介、みんながタメ息をつくもので、出演者

日ハム上田の呼称変更

日本ハム球団は二二日、上田佳則内野手(20)の処遇について「今後、内野手や選手といった呼称をやめ『犬の訓練士』を自称させる」と発表した。

上田選手は平成四年ドラフト一位で同球団に投手として入団、一年目終了時点で内野手に転向したが、犬の訓練の経験はない。

東山区 負けるな阪神 日ハムの上田って誰だ? というヤツが山ほどのぞ。

(おわび) 連続リレー小説「まよい道」はバトン紛失のため休載致します。

堂々立派語録

▼先日、久しぶりに京都駅の地下街を歩いた。駅ビルの建設などで、いつにも増して雑多な雰囲気の中をぶらぶらしていると、あるひとつの文章が目飛び込んだ▼「年末ジャンボ宝くじ一等一億二千万円 この売り場から出ました!」手書きのポスターには「この」の上に「またまた」の文字までごていねいに添えてある。ここで足を止め、ふと考え込んでしまった。このどこでも見かけるといふ諷刺的文句について、ちよいと考えてみたくなったのだ。

また同店では二週間三万円で壁のスペースを解放、個展・グループ展の開催希望者も募集している。

《お問い合わせ先》京都市中京区高小路三条下ル ウッド・イン2F 電話(075)231・8797担当/大塚・奥田

本当です。「堂々」のスタンプがちよくちよくお世話になつてる店なんで、ぜひ参加してください。

た▼思えば一等の当たりくじが出たことのない売り場はないのか、というくらい、どの売り場にも「この売り場から出ました」と書いてある。一等の当たりくじは三一万本だ。仮に日本全国に宝くじ売り場が三万件あるとすると、ほぼ九九%の宝くじ売り場はなあに? ということになる。「この売り場から(三〇年前に一回だけ)出ました」というケースもあろうが、それじゃウリにはならんわな▼こうした例はけっこうあつて「ウチはすべて紀州産の備長炭を使っています」をウリ文句にしている焼鳥屋というのもある。現在、紀州にウバメガシを使う本格的な備長炭の職人は数えるほどしかないこと、そして「備長炭しか使わない焼鳥屋」が全国に何軒あるかというのを考え併せれば、いかにJAROへ訴えたらんならん企業・商店が多いか、想像もつこうというものの。まあ「備長炭たつてピンキリだ」といつてしまえばそれまでだが▼そのうち「ウチの女の子はみんな処女です」と言い出すソーブランドが出現しそうで、密かに心配している。

「サササ」でフリーマーケット

中京区高小路三条下ルのウッド・イン2Fにある飲食店「サササ」で、四月二七日午後二時から十時まで、

店内でフリーマーケットを開催する。当日は古着やレコード、CDから電化製品や楽器まで、かなりの掘り出し物がでるものと予想されている。

このフリーマーケットを主催する店主の大塚章寿さんは「初めての試みなのでちよつと不安ですが、頑張り

のほぼ全員がことあることに大きなタメ息をついてきたことが受賞の原動力になった。次点には「ドーハの悲劇」と呼ばれたサッカーW杯アジア予選「日本対イラク」とTBSテレビのドラマ、「高校教師」が同点で挙げられている。

左京区 船木まゆみ

「クイズ〇〇〇人に聞きました」の「あるあるあるう」という客席の声にも「サンデーモーニング」の田淵さんのコメントにも情けなさからタメ息がでる。

あ、全部関口さんの番組だ。

DOWDOW BS 00

- 7.00 ナーナー 極! 京のバナー
- 7.00 ーム ー 新の 1200年
- 7.00 ー ー 京の 1200年
- 10.00 大映画大巨乳対決!!!
- 10.00 「湯けむみえレビス」
- 0.00 堂立派テレパにろうそく
- 0.00 堂立派テレパにろうそく
- 0.15 徹子のヘア
- 0.55 連続10時間テレビ小説
- 10.55 あばれん坊パンザイ
- 11.00 アマ野球ニュース
- ▽J1特集「京都サンガ」
- ▽下京区1大辞典
- 11.55 明日の出来事
- 0.00 京(キ)波で

スパイ衛星放送

Gコード予約番号はヒ・ミ・ツ